



高田小学校だより

2月号

No. 1 1

【教育目標】

自ら学び 心豊かで

たくましく生きる児童の育成

令和5年 1月31(火)

文責：校長 博多弘泰

感謝する心

学区の通学路の要所や登校班の集合場所には、朝早くから、寒さが厳しい日や雨の日であっても、地域で見守り活動をしてくださっている方々がいらっしゃいます。このボランティア活動のおかげで、交通事故への抑止効果が高まるとともに、子どもたちが安心して登校することができます。2学期の終業式の登校時、各登校班の班長が地域で「2学期、毎朝の見守りありがとうございました」と感謝の言葉を伝えました。感謝の気持ちを伝える心の豊かさや一歩踏み出す勇気が、子どもたちをさらに成長させてくれると思います。また、先日の学校運営協議会の熟議の中でも、目指す子ども像(育てたい子どもの姿)として、委員の方から「感謝する心」という意見も出されました。今回の班長の取組が、次年度以降にも受け継がれ、新たな伝統になってほしいとともに、「感謝する心」をもつ子どもたちに育てていきたいと思っています。



「気づき」「考え」「実行する」

1月23日(月)の全校朝の会(オンライン)で、「気づき」「考え」「実行する」という言葉について話をしました。この言葉は、JRC(青少年赤十字)の態度目標で、子どもたちの主体性を育むためのものであり、より良い学校生活を築く基本姿勢だと思っています。学校生活や係活動、委員会活動などの中で、自分からいろいろなことに気づき、気づいたことをどうしたらよいか解決方法を考え、それを実行することです。この言葉は、学習の場面でも同じです。課題に対して、何を聞かれているのか、何を解いたらいいのか、分かっていることは何かなどを「気づき」、どのようにすれば解決できるか自分でしっかりと「考え」、判断に従って「実行(解決)」することで、確かな学力が身に付いてきます。子どもたちが前向きに、気持ちよく、心豊かに学校生活を送るために、「気づき」「考え」「実行する」新しい風を吹かせ、子どもたちの主体性を伸ばしていきたいと考えています。

学力テスト

1月26日(木)・27日(金)の2日間(4年生は30日と31日)、学力テスト(標準学力検査NRT)が行われました。学力を把握・分析し、学習指導の成果と課題の検証やその改善に役立てるため、また、子どもにとっては苦手分野を知り、弱点を克服するため、1~4年生が国語・算数、5~6年生が国語・算数・英語の問題を解きました。今回のテストは、普段の単元末テストとは違い、出題範囲が4月から1月まで学習した内容でした。どの子も真剣な眼差しで、問題文を読み解いていました。



2月の行事予定

- 2日(木)短縮5校時
- 3日(金)節分集会
- 8日(水)新入学児童保護者説明会
- 14日(火)スキー教室(3~6年)猪苗代スキー場
- 15日(水)新入学児童体験入学
- 16日(木)そりすべり(2年) 会津自然の家
高田中学校入学説明会
- 17日(金)そりすべり(1年) 会津自然の家
- 22日(水)地区児童会
- 24日(金)・28日(火)短縮5校時

まとめの3学期

51日間の3学期も、残り35日間となりました。3学期は、進級・卒業に向けた準備や1年間の締めくくりの「まとめ」の大切な時期です。子どもたちには、現学年での学習内容をしっかりと身に付け、また、心の面も成長できるように指導・支援したり、自分たちが今何をしなければならぬのかを考える意識づけを図ったりしていきます。



